

9 脳梗塞の早期リハビリテーション実施率

▶ 項目の解説

脳梗塞患者へのリハビリテーション早期実施は有効です。意識がなくICU(集中治療室)内にあるような状況においても適切にリハビリテーションを施行することで、意識回復後の機能改善の可能性があります。適切なリハビリテーションの開始により、入院期間の短縮やQOLの改善にもつながり、より適切な医療介入を評価するものです。

脳梗塞の新鮮発症に限るため、緊急入院患者に限定します。「DPC010060」では、椎骨脳底動脈不全やもやもや病の検査入院等、実際に脳梗塞を発症した患者以外も含まれるため、病名と入院時の状況の把握が必要です。DPCの様式1からも把握可能です。

他の医療機関でも類似の指標がありますが、新鮮例に限定されていない場合は、直接の比較には適しません。

▶ 定義

脳梗塞の早期リハビリテーション実施率。

脳梗塞は新鮮例に限定します。3日以内退院と転帰が死亡である場合は除きます。再梗塞は含みます。

算式

分子： 入院4日以内にリハビリテーションが開始された患者数
分母： 最も医療資源を投入した病名が脳梗塞の患者数、緊急入院に限ります

単位

%

期間

半年(7～12月)

脳梗塞の早期リハビリテーション実施率

